

## PDP 履修希望者向け数学プレースメントテストについて

日時: 2020年4月1日(英語クラス分け試験(CASEC)と同日実施、60分程度)

場所: 未定(詳細は3月下旬までに本学公式ウェブサイトでお知らせします。)

対象者: PDP履修希望者全員(特別選抜入試(PDPパスポート型)の合格者、全学部統一グローバル型入試及びセンター方式(前期日程)で合格しPDPを確約された学生も含む)

持参品: 筆記用具(HB鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム)、電卓(関数電卓などプログラム機能の付いたものは不可)

範囲: 数Ⅰ・Aと数Ⅱ・Bのうち主に一次関数、二次関数、指数・対数、数列、微分基礎、確率・統計といった分野(図形やベクトルは除外)

### 注意事項と準備のためのヒント

- 数学プレースメントテストの結果は、入試結果や英語クラス分けテストの結果、高校での履修状況・成績、英語資格の取得状況などと併せて、PDP履修生の選抜や奨学金給付の参考資料となります。PDP履修希望者は必ず受験するようにして下さい。
- 数Ⅱ・Bからも出題されますが、高校等で数Ⅱ・Bを履修していないPDP履修希望者にも一定の配慮をします。数Ⅱ・Bを履修していないなどの場合は、まずは既習分野の問題に解答できるように準備してください。
- PDPのIFP Mathematics and Statistics(必修)を履修する上で必要とされる数学的素養があることを確認することが主な目的です。Mathematics and Statisticsのシラバス(学習内容)を意識して、経済学を学ぶ上で必須の数学分野に絞りつつ、各分野の基本事項に関する理解度を測るテストを予定しています。
- 問題の難易度は教科書の例題や練習問題のレベルを中心として、計算問題や基礎的な文章題、標準的な問題を想定しています。大学入試の数学の問題で散見されるようないわゆる難問の類は出題しません。
- 電卓の使用を許可します(関数電卓などプログラム機能の付いたものは不可)。
- 分量や難易度については、サンプル問題(別添)を用意しましたので参照下さい。